

「未来を漢字(感じる)一文字」が「展」に決定

まちの発展に “想い”を込めて

問い合わせ 経営改革課 ☎(740)1120

市出身のトロンボーン奏者 藤原功次郎さんが揮毫

昨年12月、広報誌などで募集した「29年を振り返り、そこから連想される未来へとなぐ漢字一文字」に73通の応募があり、市長などで構成する選考委員会で、「展」の字が選ばれました。

「展」には「キセラ川西という新しいまちや新名神高速



道路という新しい道ができることにより、市がますます発展してほしい」という“想い”が込められています。

1月4日に、市出身で日本フィルハーモニー交響楽団首席トロンボーン奏者の藤原功次郎さんが「展」の文字を揮毫し、市役所1階正面玄関付近に掲示しています。また、優秀賞に選ばれた大和東の増田さんには揮毫した色紙(サイン入り)などを、また、全応募者の中から抽選で選ばれた4人にはきんたくんグッズが贈られました。

生活支援サービスに従事するための資格を取得 訪問型サービスに従事するための資格を取得 生活支援サポーター研修

問い合わせ 長寿・介護保険課 ☎(740)1174・☎(740)2003

29年4月から開始された「介護予防・日常生活支援総合事業」。

同事業で位置付けられている、生活援助(調理・洗濯・掃除など)に特化した訪問型サービスに従事できる資格を取得するための研修を開催します。

☎ 3月19日(月)午前9時半—午後4時50分、20日(火)午前9時半—午後5時。全2回▷**場**アステ市民プラザ▷**要**16歳以上の市内在住・在勤者▷**定**市内の事業所で就労できる資格を取得▷**定**30人▷**申**☎**用**市役所1階の長寿・介護保険課に備え付けの申込用紙(市ホームページからダウンロード可)に必要な事項を書き、2月28日(水)までに同課へ

かわにし介護就職フェアを開催

問い合わせ 長寿・介護保険課 ☎(740)1148

☎市・ハローワーク伊丹他▷**日**2月21日(水)午後0時半—4時半(受け付けは正午—4時)▷**場**アステホール▷**講**介護福祉士の杉本浩司さん▷**内**介護職の体験談や介護職にかけの意気込みなどの講演、介護職体験コーナー、介護職の処遇改善に取り組んでいる介護事業者(10社)による事業所の案内などのプレゼンテーションと就職面接会、介護関係の公的職業訓練相談会▷**面**面接を希望する人は履歴書を持参(1社につき1枚)。就職面接会に参加の人は、失業の認定時に申告する「求職活動」に該当します

住民票など証明書の発行を一時停止

問い合わせ アステ市民プラザ ☎(740)1115 市民課 ☎(740)1340

下記の日程で、設備保守点検のため、アステ市民プラザとコンビニエンスストアでの住民票など証明書の発行を一時停止します。

【停止日時】

2月10日(土)午後5時以降と11日(日)終日

保険税(料)納付済み額のお知らせ

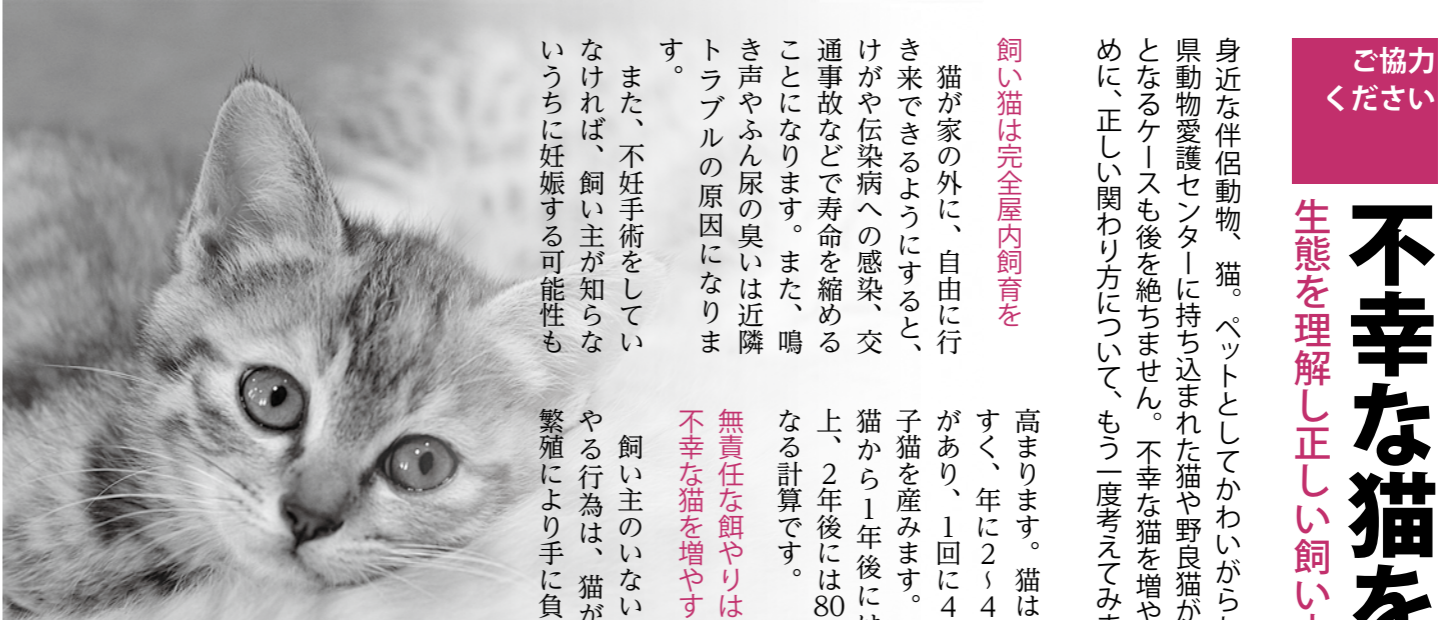
問い合わせ 保険収納課 ☎(740)1177 長寿・介護保険課 ☎(740)1148

希望者に、29年1月から12月までの1年間に納付した国民健康保険税と後期高齢者医療保険料、介護保険料の納付済み額のお知らせを送ります。

国民健康保険税と後期高齢者医療保険料については保険収納課、介護保険料については長寿・介護保険課で登録の申し込みをしてください(電話・市ホームページから可)。申し込み時に被保険者氏名、生年月日、それぞれの保険の通知書番号・被保険者番号が必要です。

すでに登録済みの方は、引き続き送付しますので、登録不要です。「納付済み額のお知らせ」は川西市に納付した分のみを記載しています。

なお、川西市から転出、または他市から転入してきた人は、納付した各市区町村に問い合わせてください。



ご協力ください

不幸な猫を増やさない

生態を理解し正しい飼い方に協力を

身近な伴侶動物、猫。ペットとしてかわいがられる一方、県動物愛護センターに持ち込まれた猫や野良猫が、殺処分となるケースも後を絶ちません。不幸な猫を増やさないために、正しい関わり方について、もう一度考えてみませんか。

飼い猫は完全屋内飼育を

猫が家の外に、自由に行き来できるようにすると、けがや伝染病への感染、交通事故などで寿命を縮めることとなります。また、鳴き声やふん尿の臭いは近隣トラブルの原因になります。

また、不妊手術をしていなければ、飼い主が知らないうちに妊娠する可能性も

高まります。猫は妊娠しやすく、年に2〜4回発情期があり、1回に4〜8匹の子猫を産みます。1匹の雌猫から1年後には20匹以上、2年後には80匹以上になる計算です。

無責任な餌やりは不幸な猫を増やす

餌の餌をやる行為は、猫が集まり、繁殖により手に負えないほ

ど増えることになり、地域環境の悪化につながります。

県動物愛護センターでは、飼い主のいない猫のさまざまな問題に対応していくために、「猫の適正管理普及推進のためのガイドライン」(同センターホームページ) <http://www.hvogo-donai.sakura.ne.jp/>に掲載)を作成。

同ガイドラインでは、不妊手術をし、「地域猫」として猫の一生を全うさせることが推奨されています。市内では「川西TNR地域ねこの会」が、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術を実施。手術済みの証明として片耳にV字カットを入れて、地域に戻す活動を行っています。皆さんも活動を守ってください。

猫の生態を理解し、正しい飼い方に協力をお願いします。

問い合わせ 美化推進課 ☎(758)3262

生物多様性シンポジウム

ふるさと川西の自然を考える

問い合わせ 環境創造課 ☎(740)1202

2月12日(水) 正午—午後5時25分@アステホール

自然活動をしている団体と一緒に 川西の自然の素晴らしさについて語り合う

テーマは『「思うぞんぶん語り合おう」知ってもらおう! 『我らの活動』感じてもらう! 『川西の自然のすばらしさ』。』

市内で自主的に里山保全などの自然活動を実施している団体が集まり、参加者の皆さんと共に「川西の自然のすばらしさ」「ふるさと川西のまちづくり」について考えます。定員は先着300人。希望者は当日会場へ。



- 第1部 体験学習と天然記念物からみた市民の活動など
コーディネーター：県立大学名誉教授の服部保さん
- 第2部 人・くらし・自然—大切な身近な自然と生き物たち
コーディネーター：市教育委員会の牛尾教育長
- 第3部 「我らの活動」感じてもらう里山、まち山、つき山のすばらしさ
コーディネーター：神戸大学名誉教授の武田義明さん